

師走らしいあわただしさの中、今年最後のお茶のおけいこをしました。そして、あひる組さんの隣のお部屋(お茶室)でのおけいこもぞう組さんとして最後となりました。

今回は、今まで練習してきた色々な所作、お道具の名前を確認しながら、1月の初釜、2月のきりんさんと一緒のお茶会、そして最後の卒園式のお茶会へと思いを馳せながらお稽古をしました。先月に引き続きお茶筌でお茶も点てました。回を重ねたお茶のお稽古は、さすがぞう組さん、落ち着いた雰囲気と姿になりましたよ。このお茶室の経験は良い思い出になったことでしょう！

## \* 12月のお干菓子



“水仙の花”  
“水仙の葉”

## \* 12月のお花



“雪柳と椿”

## \* お茶碗の絵付

自分だけの世界で1つのお茶碗作りをしています。素焼きのお茶碗に絵を描いて1月の初釜にはそのお茶碗でお茶をいただけたらと、とても楽しみにしています。卒園式にもこのお茶碗でご父兄の方にお茶をさし上げたいと大はりきりのぞう組さんですよ。出来上がりが楽しみです。

①お扇子を持って  
お席入り！



②お辞儀も上手です！



③一人で帛紗も付けて  
お運びの準備です。



⑤こぼさず上手に  
運べます！



④心を込めてお  
友達ののためにお  
茶を点てます。



⑥お茶どうぞ！  
いただきます！  
などたくさんのご挨拶も  
覚えました。



## お茶碗について

茶道の道具の中でも大切なお茶を飲むための器です。

らくやき はぎやき からつやき きょうやき  
楽焼や萩焼、唐津焼、京焼など各地の焼き物があります。ぞう組さんが造っているのは奈良の  
あかはだやき  
赤膚焼きです。

焼きものには陶器と磁器があり、造り方で違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は低い温度でゆっくりと焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞうさんのお茶碗は陶器で扱いを気をつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切に丁寧に物を使う大事さを学習するよい機会でもありますね。